

西尾市立米津小学校

人間関係づくりを中心とした米っ子の育成 ～学校・家庭・地域の連携～



ねらい:

子供を見守り育てる地域の人材の活用及び、子供の自尊感情を高め、かかわる力を育む教育を実践する。子供の心の居場所作りを推進するとともに、子供が自己肯定感を高め、積極的に活動できるよう学校を中心とした地域基盤を創造する。学校・家庭・地域が協働して子供の育成を図る。

活動内容:

- 1 自尊感情を高め、地域社会と積極的にかかわる力をつける教育の推進
 - 「かかわりの力を活かして、自らの考えを深められる米っ子の育成」をテーマに、子供たちの自尊感情を高める。
 - ・毎週金曜日に「米っ子タイム」を行い、子供たち同士のかかわりの力を育む。ペア学年、異学年交流を通して、思いやりの心を育てる。
- 2 子供を見守り育てる地域の人材の活用
 - 保健・医療機関などとの連携による特別な支援が必要な子に応じた教育の充実
 - ・専門相談機関、保健・医療機関による障害児や保護者へのサポートを行う。
 - スクールカウンセラーとの連携による子供の相談体制の充実
 - ・Q U検査、「あのねアンケート」、「あのねタイム」の活用や、スクールカウンセラーとの綿密な連携を通して、子供たちの心のケアに努める。
 - 語学相談員と連携し、通訳を必要とする外国籍児童や保護者のケアに努める。
 - 学校支援ボランティアバンクの設置
 - ・読書活動や部活動、クラブ活動における指導者を「町の先生」として協力を求める。米っ子ランド（米作り）、わくわくランド（ビオトープ）での総合・生活科学習、矢作川や朝鮮川の調査・探検（アイシンの協力）
- 3 基本的な生活習慣、学習習慣の定着
 - 米っ子七つの合い言葉を朝の会、集会、学級活動で確認しながら生活、学習の基盤をつくる。
 - 業間に子供たちによるさわやか安全パトロールを実施し、あいさつやマナーの向上を図る。
 - ノーテレビ・ノーゲームデーを設定し、家庭学習及び家族とのコミュニケーションの時間を確保する。